

溶接技能者不足対策として溶接技能者の学科（一定レベル修得者に受験時学科試験免除）・実技教育を開始し資格取得を推進

一般社団法人 日本溶接協会

今後、建築鉄骨分野を中心に深刻な溶接技能者不足となることが予想されます。当協会では溶接技能者不足対策の一つとして溶接技能をより多くの従業員に修得していただき多能工化を図る目的で溶接技能者教育委員会を設立し、溶接技能者教育を開始することとしました。

当協会は、JIS に基づき溶接技能者評価試験を実施し、資格証明書を発行しています。試験は学科試験と実技試験で構成されますが、近年合格率は低下傾向にあります。その一因として、全国的な各種技能における指導者不足の深刻化があります。企業内での教育についても指導者が少なくなっており溶接教育を受ける機会が減少していることが合格率低下につながっていると判断しております。

以上のような危機的状況に鑑み当協会では溶接技能者に対し資格取得が可能なレベルまでの技能向上、スキルアップを目的に学科・実技講習会を実施することとしました。

溶接技能者教育委員会では、二日間で本目的が達成できる要点を絞った教科書を新たに執筆するとともに効率的なカリキュラムを作成しました。

本カリキュラムの学科講習は JIS 評価試験における学科試験合格と同等な実力が得られる内容構成としておりますので、学科講習受講後の修得度の確認試験で適切なレベルまで修得できた受講者に JIS 評価試験における学科試験免除の証明書を発行いたします。

当面、実施部門は受験者数の多い、手溶接と半自動溶接の 2 部門で開始いたします。第 1 回は以下のように技能向上コース／半自動溶接の講習を実施いたします。

1. 講習会プログラム

- (1) 学科講習(技能向上コース／半自動溶接)
- (2) 実技講習(技能向上コース／半自動溶接) SN-1F、SA-2F、SN-2F 受験用

2. 実施会場

ポリテクセンター千葉（千葉県千葉市稲毛区六方町 274）

3. 日程

平成 30 年 1 月 27 日(土)・28 日(日)

※詳細は事務局までお問合せください。

以上